

のうがくしいずみりゅうきょうげんかた

能楽師和泉流狂言方 十四世・野村又三郎



和泉流野村派当主。重要無形文化財保持者。1971年生。故十三世・野村又三郎信廣(重要無形文化財総合指定保持者)の嫡男。国立東京藝術大学卒業。初舞台4歳、20歳で独立。平成8年四世・野村小三郎の名跡を継承し、直門教場、教育現場での狂言の指導 普及を実施。師父の逝去に伴い、同20年「狂言やるまい会」の主宰継承。平成23年野村又二郎を襲名。皇太子殿下の【御成婚奉祝能】や皇后陛下主催の【御前

演奏】、NHK【中学生日記】やハリウッド映画【ラストサムライ】の劇中劇、【愛知万博】の開会式等に出演。近年では上演が途絶えていた古典狂言の復曲上演や新作狂言を発表する他、異分野への出演や他分野との共演も多数。海外でのワークショップへも参加。名古屋青年会議所TARG賞、松尾芸能賞新人賞、芸術創造賞、名古屋市民芸術祭賞、名古屋市芸術奨励賞、愛知県芸術文化選奨文化賞等を受賞。愛知県立芸術大学非常勤講師。著書「我、狂言たれ～又三郎家の楽屋裏でござる～」(風媒社)

のむらまたさぶろう

のむらのぶたか

野村信朗



能楽師 和泉流狂言方

2001年生まれ、名古屋出身。

祖父十三世 野村又三郎および父の十四世 野村又三郎に師事。2004年「靱猿」で初舞台。名古屋を拠点に、国立能楽堂、京都観世会館などを含め全国各地の舞台に出演。

今年2月、5月に放送されたNHKEテレ「にっぽんの芸能」にも出演。

野村又三郎家

狂言和泉流三派のひとつ。創流以来唯一中絶することなく400年以上続き 江戸時代には禁裏御用(京都御所の出入りを許可される)を勤めながら、肥後細川藩、尾張徳川藩御抱え(専属契約)の家柄。